

令和6年度

国 語 科（論理国語）

北海道穂別高等学校

シラバス

科目名	論理国語	履修学年	2 学年（必修）
教科担任	高橋 一嘉	単位数	4 単位
教科書名	精選 論理国語 （三省堂）	副教材	学習課題ノート （三省堂）
教科目標	1. 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 2. 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高める。 3. 言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。		
科目目標	（1）実社会に必要な国語の知識や技能を身に着ける （2）他者との関わりの中で伝えあう力を高める （3）言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う		
学習方法	・授業は一斉学習とグループ学習を組み合わせ実施します。 ・プリントはしっかり取るようにしてください。 ・提出物は、期日を守り提出することが求められます。		

科目全体の評価の観点及び方法

評価の観点		主な評価方法
① 知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 （評価の割合 3 割）	定期試験 課題・プリント その他 （成果物等）
②思考・判断・表現	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 （評価の割合 4 割）	定期試験 課題・プリント その他 （成果物等）
③主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。 （評価の割合 3 割）	授業態度 その他 （振り返り）

年間学習計画

単元	論理国語へのいざない 【オリエンテーション】 (予定時数 20)
主な学習内容（活動）	[学習内容]『論理力と思考力』『情報の「メタ」化』『速読トレーニング』 [学習活動] 思考力と対比して論理力とは何かを考える。 情報の「メタ化」を理解し、思考を整理する方法を考える。
評価の観点と評価方法	①聞く力 他者の考えを正確に聞き取ることができる。 [評価方法] ディベート、ディスカッション
	②読む力 論理三原則を手段として、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。 [評価方法] 速読トレーニング、筆記テスト
	③話す力 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して議論したり、考えを話すことができる。 [評価方法] ディベート、ディスカッション
	④書く力 筆者の問題意識や執筆意図に目を向けることができるとともに、自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫することができる。 [評価方法] プリント、筆記テスト

単元	「情報化社会」を生きる (予定時数 10)
主な学習内容（活動）	[学習内容]『ネット上の発言の劣化について』 [学習活動] 筆者の主張を基に、自分の考えを論述したり発表したりする活動
評価の観点と評価方法	①聞く力 他者の考えを正確に聞き取ることができる。 [評価方法] ディベート、ディスカッション
	②読む力 論理三原則を手段として、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。 [評価方法] プリント、筆記テスト
	③話す力 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して議論したり、考えを話すことができる。 [評価方法] ディベート、ディスカッション
	④書く力 筆者の問題意識や執筆意図に目を向けることができるとともに、自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫することができる。 [評価方法] プリント、筆記テスト

単 元	言葉をみつめるⅠ 【前期期末試験】 （予定時数 10 ）
主な学習内容（活動）	[学習内容]『言葉がつくる女と男』 [学習活動] 言葉の力について考える
評価の観点と評価方法	①聞く力 他者の考えを正確に聞き取ることができる。 [評価方法] ディベート、ディスカッション
	②読む力 論理三原則を手段として、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。 [評価方法] プリント、筆記テスト
	③話す力 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して議論したり、考えを話すことができる。 [評価方法] ディベート、ディスカッション
	④書く力 筆者の問題意識や執筆意図に目を向けることができるとともに、自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫することができる。 [評価方法] プリント、筆記テスト

単 元	環境問題を考える （予定時数 30 ）
主な学習内容（活動）	[学習内容]『人類による環境への影響』『速読トレーニング』 [学習活動] 環境問題について考える
評価の観点と評価方法	①聞く力 他者の考えを正確に聞き取ることができる。 [評価方法] ディベート、ディスカッション
	②読む力 論理三原則を手段として、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。 [評価方法] プリント、筆記テスト
	③話す力 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して議論したり、考えを話すことができる。 [評価方法] ディベート、ディスカッション
	④書く力 筆者の問題意識や執筆意図に目を向けることができるとともに、自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫することができる。 [評価方法] プリント、筆記テスト

単 元	生命について考える 【後期中間試験】 （予定時数 20 ）
主な学習内容（活動）	[学習内容] 『病と化学』『ゲノム編集とi p s細胞』 [学習活動] 生命とその倫理について考える
評価の観点と評価方法	①聞く力 他者の考えを正確に聞き取ることができる。 [評価方法] ディベート、ディスカッション
	②読む力 論理三原則を手段として、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。 [評価方法] プリント、筆記テスト
	③話す力 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して議論したり、考えを話すことができる。 [評価方法] ディベート、ディスカッション
	④書く力 筆者の問題意識や執筆意図に目を向けることができるとともに、自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫することができる。 [評価方法] プリント、筆記テスト

単 元	科学技術と人間（予定時数 20 ）
主な学習内容（活動）	[学習内容] 『「なぜ」に答えられない科学』『A I時代の人間』 [学習活動] 科学技術と人間について考える
評価の観点と評価方法	①聞く力 他者の考えを正確に聞き取ることができる。 [評価方法] ディベート、ディスカッション
	②読む力 論理三原則を手段として、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。 [評価方法] プリント、筆記テスト
	③話す力 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して議論したり、考えを話すことができる。 [評価方法] ディベート、ディスカッション
	④書く力 筆者の問題意識や執筆意図に目を向けることができるとともに、自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫することができる。 [評価方法] プリント、筆記テスト

単 元	「市民社会」について考える 【学年末試験】（予定時数 10 ）
主な学習内容（活動）	[学習内容]『「市民」のイメージ』 [学習活動]「市民社会」における個人について考える
評価の観点と評価方法	①聞く力 他者の考えを正確に聞き取ることができる。 [評価方法] ディベート、ディスカッション
	②読む力 論理三原則を手段として、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。 [評価方法] プリント、筆記テスト
	③話す力 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して議論したり、考えを話すことができる。 [評価方法] ディベート、ディスカッション
	④書く力 筆者の問題意識や執筆意図に目を向けることができるとともに、自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫することができる。 [評価方法] プリント、筆記テスト

単 元	実用文の書き方を知ろう【書くこと】 （予定時数 10 ）
主な学習内容（活動）	[学習内容]「ボランティアへの参加を伝えるメールの文章を検討する」 [学習活動] 伝達意図を持ち、実用文を書く活動
評価の観点と評価方法	①情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理することができる。 [評価方法] 成果物、プリント
	②実用文には書き方のルールがあり、場面や目的に応じて書き方に工夫が必要な点を理解することができるとともに、自分の考えが的確に伝わる文章になるように、表現のしかたを工夫することができる。 [評価方法] 成果物、プリント
	③実用文の書き方が場面や目的によって異なることを積極的に把握しようとしている。 [評価方法] リフレクションシート

単 元	具体と中小の関係を整理し、文章の内容を把握しよう【読むこと】 (予定時数 10)
主な学習内容（活動）	[学習内容]『言語が見せる世界』 [学習活動] 言語と認識の関係について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする活動
評価の観点と評価方法	①文章の構成や展開のしかたについて理解を深めることができるとともに、情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理することができる。 [評価方法] プリント、テスト ②具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、言語と認識の関係を理解することができるとともに、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。 [評価方法] プリント、テスト ③学習課題に沿って積極的に本文中の語句や表現について考えることで、語感を磨き語彙を豊かにしようとすることができるとともに、積極的に身の回りのものの概念を考えて発表し、それが「プロトタイプ」と言えるかどうか判定しようとしている。 [評価方法] リフレクションシート